

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
3.0a	インストール直後の再起動でOSが起動しなくなる。 ・FMV-7000NA3 ・FMV-7160NU3 ・FMV-715NU3 *FMV-W600は未吸収	BIOS割り込み処理ルーチンが使用するアドレス空間1MB以下のメモリが、このPCでは他のI/Oで使用されていた。BIOS割り込み処理ルーチンの使用メモリ量を減らし、ロードするアドレスを移動させ、使用禁止のアドレスにパッチングしないようにした。	並、上、特上 Rel.3.0以前 かつ以下の機種の場合 FMV-7000NA3 FMV-7160NU3 FMV-715NU3	なし	Rel.2.0共通トラブル
	Windows終了時、RMNTCLSV.EXEにてアプリケーションエラーが発生。	スレッド終了監視処理が行われていないスレッドが存在したため、スレッドが終了する前にプロセス(RMNTCLSV)が終了する場合があった。生成する全スレッドを監視するようにし、全スレッド終了後、プロセスを終了するよう処理を修正した。	並、上、特上 Rel.3.0以前	なし	Rel.2.0共通トラブル
3.0b	インストール直後の再起動でOSが起動しなくなる。 ・FMV-W600	BIOS割り込み処理ルーチンが使用するアドレス空間1MB以下のメモリが、このPCでは他のI/Oで使用されていた。BIOS割り込み処理ルーチンの使用メモリ量を減らし、ロードするアドレスを移動させ、使用禁止のアドレスにパッチングしないようにした。	並、上、特上 Rel.3.0a以前、 かつ以下の機種の場合 FMV-W600	「Advancedメニュー」 「Advanced System Configuration」 「BIOS Work space Location」 「Top of Base Memory」を "Expansion ROM Area"に変更。 または、「USB Legacy Support」を"Disable"に変更。	Rel.2.0共通トラブル
	資源配付処理が正常に動作しているにも関わらず、資源が適用されない。またはテスト配付の適用を行っても資源は適用されない。	修復モードPCに資源適用を実施すると個別環境の変更が行われていなかった。個別環境の変更を行うよう処理を修正しました。	上、特上 Rel.3.0a以前、 かつ ファイル・フォルダ単位設定のみ	資源配付前のクライアントにおける瞬快のモードを更新モードに変更後、資源の配付指示 / 適用処理を実行してください。正常に適用された後、瞬快のモードを通常運用されているモードに変更してください。	
	ログオン先の指定でドメイン名を指定したにも関わらずログオン先がローカルになってしまう	ユーザ名を表示しない設定を選択した場合のみ、ドメイン名のレジストリ変更が行われていなかった。ドメイン名のレジストリを反映するように修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	自動ログオンの場合、パスワードに「!#\$%&'()*=」の文字を使用すると「日本語文字は使用できません」のエラーメッセージが表示される	日本語入力のみ拒否するように設定していたが、誤って禁則文字(* / ; - # !等)の入力も拒否していた。(半角英数字しか入力できなかった) 全角文字列のチェックを行う関数を修正した。	上、特上 Rel.3.0a以前	半角英数字のパスワードにて設定して下さい。	
	サイレントインストール実行時、定義ファイル(SKRENV.INI)の修復対象領域、パスワード、PageUpキー入力待ち時間が反映されない。	9x系の処理において読み込みデータサイズがバッファより大きかったために全データを読み込めなかった。データを全て読めるようにプログラムを修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0a以前、 かつ 9x系OSのみ	なし	
	Windows終了時、RMNTCLSV.EXEにてアプリケーションエラーが発生。	サービスのハンドルのクローズ漏れがあったので、クローズ処理を追加した。(Rel.3.0aでの対処は不十分であった。)	並、上、特上 Rel.3.0b以前	なし	Rel.2.0共通トラブル
管理機能からレベルアップを行い、結果がNGだった場合、表示される結果ダイアログ中のIPアドレスとコンピュータ名が逆になっている。	正しい場所にデータを表示するよう修正した。	並、上、特上 Rel.3.0b以前	なし	Rel.2.0共通トラブル	
管理機能からレベルアップを行い、結果がNGだった場合のエラーメッセージが不適切。	適切な文言に修正した。	並、上、特上 Rel.3.0b以前	なし	Rel.2.0共通トラブル	
管理機能で操作クライアントを選択した後、グループを選択し、操作を行ったところ、先に選択したクライアントにしか操作内容が適用されない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、特上 Rel.3.0b以前	グループ選択で操作を行わず、クライアントを複数選択した状態で操作を行ってください。	Rel.2.0共通トラブル	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	管理機能からバックアップモードへ移行し、環境設定を行った場合、前回修復対象外に設定されていたファイル/フォルダが修復対象として表示される。本来は前回の修復対象領域の設定が表示される。	バックアップモードPCに対して管理機能から修復対象情報を送信していなかったため、初期値(全修復対象)で設定されていた。バックアップモードPCに対しても修復対象情報を送信するよう修正した。	並、上、特上 Rel.3.0b以前、 かつ ファイル・フォルダ単位設定のみ	なし	
	管理機能からバックアップモードPCに対して環境設定を行うと次回起動時に起動モード選択画面が表示される。	管理機能から環境設定を行った場合、デフォルトで修復対象外とするパスの設定が行われていなかった。(バックアップモードのみ) 上記ルートのデフォルト修復対象外パス設定を追加した。	上、特上、並 Rel.3.0b以前、 かつ ファイル・フォルダのみ	なし	
	瞬快をインストールすると、「プロファイルが壊れました」というメッセージが表示される。または再起動を繰り返す。	クライアントインストール時にシステムの復元機能を停止させるように修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0b以前、 かつ ファイル・フォルダ単位設定のみ	システムの復元機能を停止し、修復タイミングを毎回起動時に設定して頂くことで回避できます。	
	瞬快がインストールできない。 [該当機種] NEC MATE	NEC機にプレインストールされている、「NT Meter」というソフトが、ハードディスクのMBRの領域を使用しており、瞬快インストール時に競合が発生していたため、インストール用プログラムを修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0b以前	以下の手順で瞬快のインストールを行ってください。 1."NT Meter"サービスを停止させる。 2.瞬快を通常の手順でインストールする 3.再起動	
	残ディスク容量の表示に誤りがある。	ファイルフォルダ単位の設定時、修復モードでも更新モードでも残ディスク容量を取得する際に同じ関数を使用していた。修復モード時は、エクスプローラで表示される残容量を取得し、更新モード時は本体領域から残容量を取得するように修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0b以前、 かつ ファイル・フォルダ単位設定のみ	なし	
	一般ユーザにて、瞬快クライアントのプロパティを表示させると残ディスク容量が表示されない。	一般ユーザではシステムドライブの情報が取得できないため、残ディスク容量が表示できていなかった。インストール時にシステムドライブのパーティション番号をファイルに保存することで一般ユーザでもパーティション番号の取得が行えるように修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0b以前	なし	
	ファイル・フォルダでインストール直後、MASTOUT.DEFのskrenv.iniとlogon.iniが修復対象外になっていない。	当ファイルを瞬快インストールフォルダをレジストリから取得し、修復対象外に設定しているが、インストール時はまだレジストリの設定が行われていないので、修復対象外に設定できていなかった。インストール時に、瞬快インストールフォルダを取得できるように修正しました。	並、上、特上 Rel.3.0b以前、 かつ ファイル・フォルダ単位設定のみ	なし	
	管理機能からのレベルアップ時の動作モードが修復モード(手動)になっていてもレベルアップが実行される	レベルアップ処理を実行した場合、クライアントから管理端末に対して現在のモードを返しているが、手動モードの場合にこの処理に関して考慮漏れがあった。クライアントが手動モードの場合、レベルアップをできないように修正しました。	上、特上、並 Rel.3.0b以前	クライアントを一度更新モードに変更してから、レベルアップ処理を実行して下さい。	
	リモートからのレベルアップで更新モードと、電源OFFのクライアントが混在しているグループを選択し、レベルアップを行うと「修復対象のコンピュータが存在します」のメッセージが表示され、レベルアップができない。	「モード 更新モード」で判定していたため、更新モード以外は、修復モードと判定していた。 従来の「モード 更新モード」とAND条件で「モード 電源OFF(-1)」の場合に、修復モードとしてメッセージを表示するように修正しました。	上、特上、並 Rel.3.0b以前	更新モード、かつクライアントの電源が投入されている状態で管理機能からのレベルアップ処理を実行して下さい。	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	リモートからのレベルアップでクライアントが更新モード以外の場合(スケジュールが1日1回、週1回)、修復モードにも関わらず、レベルアップ処理がクライアントにて実行可能となる。	クライアントからレベルアップ時に、1日1回、週1回修復のスケジュールの場合、修復モードという情報を返していなかったため、1日1回、週1回のスケジュールでも修復モードという情報を返すように修正しました。	上、特上、並 Rel.3.0b以前	更新モードに変更してから、再度レベルアップ処理を実行して下さい。	
	環境設定画面開き、OKボタンを押下した場合、LAUNCHER.exeがアプリケーションエラーを発生し、不正終了してしまう場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上、並 Rel.3.0b以前	リモート管理機能より、クライアントの操作を行って下さい。	
3.0d	管理機能からクライアントに指示を出した場合、管理機能上のカーソルが砂時計のままとなる。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel.3.0c以前	なし	
	管理機能から特定のクライアントを選択して修復対象領域の設定変更を行った場合、選択したクライアントと異なるクライアントにて処理が実行される。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel.3.0c	なし	
	瞬快クライアントでディスク使用量が90%以上になると、タスクマネージャのCPU使用率が100%になる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	なし	
	WindowsXP環境において、メモリ容量が128MBのとき、瞬快インストール後にOSが再起動を繰り返す場合がある	「システムの復元」の停止と、WindowsXPのプリフェッチ機能の停止を行うようにインストール用プログラムを修正しました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	先頭のディスクが起動ディスクでない場合(MO等の場合)瞬快がインストールできない。	一番目に認識されるHDに対して、瞬快のインストールが行われるように修正しました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	なし	
	管理機能からクライアントに動作モードの変更指示を行うと「エラーが発生したためRMNTCLSV.EXEを終了します」のメッセージが出る。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0c以前	なし	
	クライアントからアプリケーション登録を行うと、「予期しないエラーが発生しました。環境を確認してもう一度行ってください。」というエラーメッセージが表示される。	Windowsアップデートフォルダ読み込み時に発生しているため、Windowsアップデートフォルダを修復対象外にするよう修正した。	上、特上 Rel3.0c以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	瞬快のサイレントインストール時に「InstallShieldエンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。」というエラーメッセージがでて瞬快がインストールできない。	InstallShield修正パッチを適用しました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	なし	
	「RPOFF.EXE クライアント名」を実行すると、「コマンドの送信に失敗しました」というメッセージが表示される。	通信処理におけるプログラムの修正を行いました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	なし	
	管理機能にクライアントを手動入力した後、1度管理機能を閉じて再度立ち上げると、「MACアドレスが重複します」というエラーメッセージが表示される。	DHCP運用時、重複IPが発生することの考慮もれを修正しました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	IPアドレスに十分な空きがある場合 1.DHCPのリースを、動的からMACアドレス予約設定に変更する 2.管理機能の(オプション)(コンピュータの情報を自動更新する)を有効にする 3.既存クライアントの情報を、手動で“最新の情報の更新”を行う 本来のIPアドレスが管理機能上に登録されます 4.クライアントの登録を行う 5.管理機能の(オプション)(コンピュータの情報を自動更新する)を無効にする  IPアドレスに十分な空きがない場合 お手数ですが、弊社サポートセンターまでお問い合わせください	
	リモート管理で環境設定画面を開き、OKボタンを押したタイミングでアプリケーションエラーが発生する。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0c以前	なし	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	資源配布を実施すると、「resapply.exeアプリケーションエラー」が発生する。	Windows9x環境において、資源適用処理の1回目の起動時にOSがハングアップした場合の処理が考慮されていなかったため修正しました。	上、特上 Rel3.0c以前、かつOSがWin9x系の場合	なし	
	瞬快インストール直後の再起動時に「前回正常起動時の設定」で起動した後、pageupキーで簡易環境設定メニューを起動すると、画面が徐々に真っ白になる	インストール用プログラムの修正を行いました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	なし	
	物理的に同じディスクに対して、論理的に複数のドライブを割り当てると、瞬快インストール後にWindowsが再起動を繰り返してしまう。	インストール時、NTFSにボリュームが割り当てられてないか確認し、割り当てられている場合、エラーメッセージを出力するように修正しました。	並、上、特上 Rel3.0c以前	物理的に同じディスクに対して論理的な複数のドライブを割り当てないように設定した後、瞬快を再度インストールして下さい。	
	パフォーマンスオプションのメモリ使用量が「システムキャッシュ」を設定しているとき、突然再起動することがある。	パフォーマンスオプションのメモリ使用量を「プログラムキャッシュ」に設定する	並、上、特上 Rel3.0c以前、かつWindowsXPのみ	パフォーマンスオプションのメモリ使用量を「プログラムキャッシュ」に設定する	
	資源格納場所にネットワークパスを指定したとき、IDパスワード入力ダイアログが表示されていてもインストールウィザードの完了ボタンが押せる	プログラムの修正を行いました。	特上 Rel3.0c以前	なし	
	修復モードの修復タイミングを一週間に一回(火曜日)を指定しても一週間に一回(火曜日)に設定されない	プログラムの修正を行いました。	上、特上、並 Rel.3.0c以前	なし	
	離型マシンよりディスクサイズが小さいクライアントに対してマルチキャスト配信を行うと、配信途中で、DeployCenterが異常終了し、「A:¥」のまま処理が停止してしまう。	ディスクサイズが違う環境であっても、ディスクサイズで復元するのではなく、パーティションの比率で復元するように変更しました。	特上 Rel3.0c以前、かつ配信先のディスクが離型より小さい場合	以下のファイルを編集してください。 %システムリカバリサーバインストールフォルダ%\MultiCast.infファイルを開き、3行目のServiceCommand行に以下のコマンドを追加して下さい。 「/RPP」	システムリカバリ機能で発生します。
	ドライブに署名がない場合、マルチキャスト配信実行後、Windowsのドライブ文字がずれてしまう。	ドライブに署名がない環境であっても、ドライブ文字がずれないように変更しました。	特上 Rel3.0c以前、かつドライブに署名がない場合	1.%システムリカバリサーバインストールフォルダ%\DeployCenter¥PqVFedit.exeを実行して下さい。 2.%システムリカバリサーバインストールフォルダ%\BINL¥x86pc¥undi¥Emm¥PowerCast5.1を、PqVFedit.exeに対してドラッグアンドドロップして内容を表示させて下さい。 3.Autoexec.batを選択し、右クリックを押して解凍して下さい。 4.Autoexec.batの下から2行目PQPCASTの起動コマンドに以下のコマンドを追加して下さい。 「/WFS」 5.編集を行ったAutoexec.batを1.で開いたPqVFedit.exeにドラッグアンドドロップして下さい。 6.PqVFedit.exeを保存して終了して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信後の処理において、サーバ上で操作がないとクライアントの電源が投入されない。	プログラムの修正を行いました。	特上 Rel3.0b、cのみ	マルチキャスト配信後にサーバ上でマウス等操作して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	サーバ上のイベントログに「tftp no slot empty」のエラーイベントが大量に出力される。	エラーログのイベントを出力しないように変更しました。	特上 Rel3.0c以前	一斉にクライアントを起動するのではなく、時間を空けて少数台でクライアントを起動して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	イメージ取得、ユニキャスト配信時に「#1805」のメッセージが表示され、異常終了する。	NIC判断処理において、一部の機種にて処理に誤りがあったため、修正しました。	特上 Rel3.0c以前、かつ以下の機種の場合 FMV-W600 FMV-C600 FMV-K600 FMV-7000CL2	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信後、クライアントの電源が数台投入されない場合がある。	ネットワークブート時において、クライアントからのリクエスト要求が2回発生する場合があります。2回発生した場合の考慮を行いました。	特上 Rel3.0c以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	WindowsXP環境において、オプション機能よりドメイン参加を行う(NETDOMを指定)設定しているにも関わらず、展開後、ドメインに参加できない。	NETDOM使用法の誤りです。正しいNETDOMの使用方法に修正しました。	特上 Rel.3.0c以前、かつWidnowsXP環境でドメイン参加連携をNETDOMで行った場合	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	クライアントイメージ作成時に、「MACアドレスが2つ存在するため、開始できません。」とメッセージが表示される。	NETWORKカードレジストリにエントリが2つ以上ある場合には、エントリを表示し、選択することで動作するように変更しました。	特上 Rel.3.0c以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	FMV-E601(1GNIC)の対応	FMV-E601に搭載されている1GNICでも正常に動作するよう変更しました。	特上 Rel.3.0c以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	サーバにNICが2枚搭載されている場合、マルチキャスト配信時に、「Trying to Connect to Server "OSR"」というメッセージが表示されたまま、処理が停止してしまう。	どちらのNICでマルチキャスト配信を行うか、インストール用プログラムを変更しました。	特上 Rel.3.0c以前	以下のファイルを編集して下さい。 %システムリカバリオプションインストールフォルダ%\MultiCast.infファイルの3行目(ServiceCommand行)に以下のコマンドを追加して下さい。 「/IP= . . . . .」(マルチキャスト配信を実行するNICのIPアド	システムリカバリ機能で発生します。
	イメージ取得後の後処理において、自動ログイン処理に失敗する場合がある。	AutoLogonCountキーが存在する環境においても正常にイメージの取得が行えるように変更しました。	特上 Rel.3.0c以前	以下のレジストリキーを削除してからイメージの取得を再度実行して下さい。 [HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon] DWORD: AutoLongonCount キー	システムリカバリ機能で発生します。
	システムリカバリサーバで管理できる最大クライアント台数の変更を簡単にできない。	レジストリ操作ではなく、画面操作より、管理できるクライアント台数の変更が行えるように変更しました。	特上 Rel.3.0c以前	以下のレジストリキーを編集して下さい。 [HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Fujitsu\Quick Recovery Manager\Server\Ccs] 文字列: MaxClientChar (数字を変更して下さい) 変更後、以下のサービスを再起動して下さい。 ・Fujitsu QRMCCServ	システムリカバリ機能で発生します。
	イメージ取得時にサーバのディスク容量が少ない場合でも処理が実行できるため、イメージ取得途中でエラーとなる。	離型となるクライアントのCドライブの容量を確認し、サーバの空き領域が少ない場合には、確認メッセージを表示するように変更しました。	特上 Rel.3.0c以前	イメージデータ格納先パーティションの空き領域を確認してから、イメージの取得を行って下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
3.0d+	クライアントがリポートを繰り返す。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d以前 ファイルフォルダ単位	なし	
3.0f	レベルアップ処理後、administrator権限を持ったユーザで一度クライアントにログインしないと、レベルアップ処理が正しく完了しない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	administrator権限を持ったユーザでクライアントにログインしてください。	
	自動ログイン環境のクライアントにアプリケーション配付したところ、資源配付完了後に、自動ログインしなくなる。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	アプリケーション登録処理において、アプリエラーを起こす場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	瞬快クライアントインストール時、「Windowsのファイル保護」ウィンドウが表示されてしまう。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	環境によっては配付処理の自動ログインで停止する場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	資源配付時の処理において、資源適用処理開始後の再起動で正常に動作しない場合がある	ログオンパネルを監視し、ログオンパネルが表示されてから、レジストリの設定を行うようにプログラムを修正しました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	ポリシーの設定にて、「ログオン時にCtrl+ALT+Delを必要としない」を無効に設定して下さい。	
	ログオンパネルの表示設定において、「コンピュータ名とユーザIDを同一にする。」チェックボックスにチェックが無効になる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 かつWindowsXPでドメインログインを指定した場合	なし	
	「修復対象と同一ドライブにある」かつ「修復対象ではない」ファイルまたはフォルダをネットワーク経由で変名できない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 ファイルフォルダ単位	なし	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	修復モードの場合、修復対象内フォルダに全角英小文字を含むファイルを新規作成すると、新規作成したファイルについて、削除や移動ができなくなる。(コピーは可能)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 ファイルフォルダ 単位	なし	
	アプリケーション資源登録時にAUL:0001のエラーメッセージが表示され、異常終了する。	ログオンパネルを監視し、ログオンパネルが表示されてから、レジストリの設定を行うようにプログラムを修正しました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	サイレントインストールの定義ファイルの中でインストールフォルダのパス名に存在しないパスを指定するとエラーメッセージが表示される。	不正なパス名が指定されても正常にエラーをログファイルに出力するように修正しました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	正しいパス名を指定する。	
	サイレントインストール実行時に定義ファイルを指定するパスを" "でくると「定義ファイルが存在しません」のエラーログが出力されてインストールできない。	パス名を" "指定された場合でも、正常に処理が行えるように修正しました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	定義ファイルを指定するパスを" "で囲まない。	
	リモート管理機能から動作設定が行えない(電源OFF、再起動は正常動作する)。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	複数台選択時、対象となるクライアントの状態が、電源ONとOFFが混在している場合、リモート管理機能より個別環境の変更を行ってもクライアントにて処理が実行されない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	復元タイプがファイルフォルダ単位で、環境設定画面にてモードの変更後、再起動せずに再度モード変更処理を行うと、瞬快ドライバが停止する場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 ファイルフォルダ 単位	なし	
	瞬快をインストールすると、アンインストールしてもシステムの復元機能が使えない状態となる。	瞬快アンインストール時に、インストール前のレジストリに戻すようにInstallShield処理の修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 WindowsXPのみ	なし	
	クライアントアンインストール後に瞬快フォルダ%ENV%\$-StpChk.flgが削除されずに残っている。	InstallShield処理の修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	アンインストール後、手動でインストールフォルダを削除する。	
	瞬快クライアントインストール時に「キャンセル」ボタンが使用できる。そのため、「キャンセル」ボタンを押すと、処理の途中で終了してしまう。	キャンセルボタンを非表示設定に変更しました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	アンインストール実行中に、キャンセルボタンを押さないで下さい。	
	復元タイプがファイル・フォルダ単位の設定時、クライアントOSがWindowsXPの場合、環境設定画面で修復モードの詳細設定にて「毎回起動時修復」以外選択できないように変更しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 かつ、 WindowsXP、 ファイルフォルダ 単位の設定時のみ	なし	ファイル・フォルダ単位での運用における、WindowsXP利用時の制限事項のため
	環境設定画面で「更新モード」を選択するときに、警告メッセージを表示するように変更しました。	環境設定画面で「更新モード」を選択するときに、警告メッセージを表示するようにプログラムを修正しました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	なし	更新モードでの長期運用には注意が必要のため、メッセージを追加しました。
	アンインストール時にレジストリをOSデフォルト設定に戻してしまい、瞬快インストール前の状態に戻らない。	InstallShield処理の修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前	なし	対象となるレジストリはソフトウェア説明書を参照してください。
	Windows起動時にMS-DOSモードにしてファイル操作を行っているとディスクの中身がおかしくなる場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d+以前 Windows9x系のみ	なし	
	ログオンパネル(GINA)を変更された環境では配付時に処理が停止しまう。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	なし	
	瞬快インストール後の再起動時に、黒い画面で処理が停止し、起動できなくなる場合がある。	瞬快が起動時に使用するメモリサイズを大幅に削減しました。	上、特上 Rel.3.0d+以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	マルチキャスト配信用のブートイメージを再起動用に置き換えた場合、後処理がランダムな係数で実行されておりましたが、指定された時間で再起動を行うように変更しました。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前かつ、再起動用のモジュールに置き換えた場合	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。 再起動の指定間隔は以下のファイルを編集して下さい。 %システムリカバリインストールフォルダ%\MultiCast.inf  WakeUpInterval=単位は秒です。
	複数台のクライアント一斉に起動すると、サーバ上のアプリケーションイベントログに「QRMMtftp: No slot is empty to process this client's request」が大量に出力される(クライアントの動作自身に影響ないがサーバ上の必要なイベントログがみにくい。)	イベントログを出力しないように修正しました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前かつ、クライアントを一斉に起動させた場合	10台程度の端末にて、間隔を空けて起動させて下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信時の処理をシャットダウンではなく再起動に変更しました。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	DOSドライバを最新版に変更する機能を追加しました。	ユニキャスト配信時、およびマルチキャスト配信時のドライバ置き換え機能追加とマニュアルに置き換え手順を追記しました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信時に転送速度が遅くなったり、途中で異常終了する場合があります。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前、かつディスクイメージサイズが4GB以上のイメージを複数台にマルチキャスト配信した場合	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	リカバリ後の後処理において、瞬快サイレントインストール時に再起動を行う設定にしていると、ステータスが異常になる	リカバリ後のサイレントインストール時のみ、「再起動を行う」に設定されていた場合でも「再起動を行わない」と同じ動作をするように修正しました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前	瞬快サイレントインストール用定義ファイル内にある、再起動を行う設定を再起動にしないに変更し、再度イメージの配信を行なって下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	ログオンパネルの表示設定にて、ログオン先をドメインに設定しているにも関わらず、ローカルになってしまう。	プログラムの修正いたしました。	V1.1L10G～ V1.2L14の全製品、かつNETDOM連携時、かつドメイン名にロングドメイン名を利用した場合	以下のファイルに記載されているドメイン名をログオン先で表示されるドメイン名に変更してから、再度リカバリを実行して下さい。 %システムリカバリインストールフォルダ%\ORSCMDS%syunkai%OPTION%オフショ名フォルダ%\Logon.reg "DefaultDomainName" "AltDomainName"	システムリカバリ機能で発生します。
	Windows Server 2003環境をサーバに設定した場合、イメージ取得が正常に行なえない場合がある	導入時の留意事項として、ソフトウェア説明書に記載しました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前	以下の設定項目を確認して下さい。 1. コントロールパネルから「管理ツール」-「ドメインコントローラセキュリティポリシー」を選択して下さい。 2. 規定のドメインコントローラセキュリティ設定の画面から、「セキュリティの設定」-「ローカルポリシー」-「セキュリティオプション」を選択します。 3. ネットワークセキュリティ: LAN Manager 認証レベルのプロパティを開き、「LMとHTLM応答を送信する」に設定して下さい。 4. 同様に規定のドメインコントローラセキュリティ設定画面より、Microsoft ネットワークサーバ: 常にデジタル署名を行なう。を無効に設定して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信が無限に繰り返されてしまう場合がある。	プログラムの修正いたしました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前かつ、再起動用のモジュールに置き換えた場合	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。
	ブートイメージの種類がDR-DOSでは正常にイメージ取得できない機種があったが、全ての機種でイメージ取得できるように変更しました。	DR-DOSをバージョンアップしました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	システムリカバリ機能で発生します。

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	オプション設定画面において、ログオンパネルの表示設定でドメインを指定し、再度戻るボタンにてドメイン名を変更してログオンパネルの表示画面に進むと変更が反映されない。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0d+以前	ログオン先を一度ローカルに変更後、再度ドメイン先にチェックして下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
3.0g	リモート管理機能インストール時にReadme.txtを表示する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	なし	
	サーバのインストール可能機種を追加する。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0f以前 WindowsXPPro、 Windows2000	なし	
	rchmode.exeコマンドのタイムアウトオプションを追加する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	なし	デフォルトのタイムアウト値は4秒です。
	管理機能でレベルアップのDEFファイルを選択するプルダウンの文字が化けている場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0f以前	なし	
	RMODECHG.DLL内でDLLロード失敗時にアプリケーションエラーが発生する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	なし	
	SymantecAntivirusでウイルススキャン処理が停止する場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	1～2回処理を再実行してください。	
	FAT32ファイルシステムの時、ディスクイメージサイズを変更した環境に瞬快をインストールするとディスク不足のエラーが発生する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	なし	NTFSでは発生しません。
	コマンドプロンプトからFOMATコマンドの抑止がされていない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前 ファイルフォルダ 単位かつ修復 モードの場合のみ	なし	
	Win2000 / WinXPのとき、リモート管理から環境設定画面を選択し、個別環境の変更を実施すると、該当のクライアントが再起動するときに、ログオンパネルの初期値が直前のローカルユーザとならない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	なし	
	パーティション単位の復元時、特定のノートパソコン環境でWindowsの起動やログオンが遅くなる	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0f以前	なし	
	WindowsServerが構築できない環境においてもシステムリカバリ機能が動作できるように機能強化を実施しました。(簡易DHCP機能の実装)	簡易DHCP機能を追加しました。	上×2、特上 Rel3.0f以前	なし	システムリカバリ機能で対応します。
	マルチキャスト配信時の、サーバ起動パラメータ[/PCTHR=700]を追加する。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0f以前	以下のファイルを編集して下さい。 %システムリカバリオプションインストールフォルダ%\MultiCast.infファイルの3行目(ServiceCommand行)に以下のコマンドを追加して下さい。 "/PCTHR= " (マルチキャスト配信時に利用する帯域を制御します。指定範囲は、1～999です。指定なしの場合は、最大値の999と同等です。)	システムリカバリ機能で対応します。
	Sleep.exeが9X系OS上で動作しない。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0f以前 Win9X系OSのみ	なし	
	マルチキャスト配信完了後、再起動後の待ち時間が全台同一になってしまう場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0fのみ、かつ185台以上に配信を実行した場合	なし	システムリカバリ機能で発生します。
3.0h	以下の条件の場合、瞬間復元機能の停止及びタスクトレイからの環境設定での失敗の現象が発生する場合がある。(通常発生することはありません) 1)瞬快が使用する作業領域内のファイルにディスク異常が発生した場合。 2)Windows起動直後に再起動する操作を連続して数十回実施した場合。	左記条件で問題が発生しても、瞬間復元機能が停止しないように修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	パソコン起動時に、PageUPキーを押し、簡易設定画面からアンインストールを実行してください Windows起動後に、各ドライブ直下にある'\$ @&% ' フォルダをネットワーク上の別端末からマウントし、別端末で削除してください。 ディスク異常が原因の場合は、chkdskを実行後に削除してください。	



レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	管理機能で以下の条件の場合、クライアントのプロパティ画面表示に異常に時間を要する場合がある。 1)DHCPなしのグループである。かつ 2)該当クライアントの電源がOFFである。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0g以前	電源OFFのクライアントのプロパティ画面は開かないよう、回避をお願いします。	
	管理機能(リモート管理)より、以下の条件の場合に、「クライアントの情報送信に失敗しました」とエラーメッセージがでる。再度実行すると正常に動作する場合もある。 1)ファイル・フォルダの復元タイプである。かつ 2)プルダウンのメニューからではなく、環境設定画面より各種操作を実施する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	以下の手順で回避できる場合があります。 1)再度実行する。 2)同時実行台数を減らして実行する。	
	以下の条件の時、クライアントの環境設定画面で、「強制修復チェックボックス」を外して実行すると、次回Windows起動時に突然再起動等する可能性がある。(通常チェックがついているため、意図的に外さない限りは問題ありません) 1)OSがWindowsXPである。 2)ファイル・フォルダの復元タイプである。 3)修復モードである。  上記条件の場合は、毎回起動時修復の制限事項があるにもかかわらず、クライアントの環境設定画面で、「強制修復チェックボックス」を外すと一日一回等の設定と同じ動きになるため。	左記条件の場合、「強制修復チェックボックス」を外さないように修正しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前 WindowsXPファイルフォルダ単位のみ	左記問題発生環境の場合は、意図的に環境設定画面の「強制修復チェックボックス」を外さないようお願いします。	
	PhotoshopCS(ライセンス認証が必要なものを)をインストールされた端末で、ファイルフォルダ単位の修復モードに設定した場合、PhotoShopするを起動すると毎回ライセンス認証が必用になる。	PhotoShopCSの新しいライセンス認証に対応を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	パーティション単位の復元タイプに変更していただくとう正常に動作します。 または、Rel.3.0h以降へレベルアップを実施して下さい。	
	以下の条件の場合、マニュアル設定通りに設定したにも関わらず設定が有効にならない。 1)サイレントインストールを使用している。かつ 2)ログオンパネルの変更を行う。かつ 3)"ドメインに自動ログオンする"を選択。かつ 4)"ユーザ名にコンピュータ名を指定する"	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	インストール完了後、クライアントの環境設定画面または管理機能(リモート管理)より再度設定をやりなして下さい。	
	以下の条件の時、瞬快のログオンパネルで設定したドメイン情報が有効にならない場合がある。 1)ログオンパネルの設定で、ドメイン名の表示を設定する。 2)ログオンパネルが表示された状態で、alt+ctl+delを押したとき。またはログオフしたとき。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0d以降 Rel3.0g以前	瞬快を更新モードに変更し、以下のレジストリの値を正しいドメイン名に変更して下さい。 HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon AltDefaultDomainName または、Rel.3.0h以降にレベルアップした後、再度ログオンパネルの設定を実行して下さい。	
	MASTOUT.DEFに定義されているパスを、ユーザが環境設定画面で修復対象として設定すると、そのパスが修復対象の領域として処理される。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	なし	
	瞬快インストール時に、自動ログオンID、パスワードを入力する画面でローカルコンピュータ名と同じIDを指定する場合のエラーメッセージの修正。	エラーメッセージの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	なし	
	管理機能より1台以上のクライアントに対してレベルアップの指示を実施すると、正常にレベルアップできない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	なし	
	以下の条件の場合、使用している各パーティションに十分な空き容量があるにも瞬快インストール後のクライアント起動時に、「空き容量が不足しています」の警告メッセージが表示される。 1)NEC機等で、リカバリーのためのバックアップがディスク内に格納されている。かつ(Windowsからは見えない設定にされている場合があります) 2)当バックアップが格納されたドライブの空きが10%以下の場合。	クライアント起動時の空き容量のチェックを空き容量不足の影響が大きい、起動ドライブ(通常はCドライブ)のみに変更しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	隠しパーティションを削除して下さい。	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	CygWin(Windows上でLinuxを動かすツール)でcygwinサービスにプログラムを登録してある環境に、瞬快をファイル・フォルダの修復モードでインストールすると、Cygwinのサービスが起動した直後にWindowsが再起動する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	CygWinのインストールフォルダを修復対象外に設定することで回避可能です。	
	LinuxのEXT2,3領域で正常にフォーマットがなされていないパーティションがあった場合、FATまたはNTFSと認識し、瞬快インストール直後再起動時に空き領域を確認中の画面でハングアップする。 または、ファイル・フォルダの修復モードから更新モードへ変更した時、同様の現象が発生する。	左記のような特殊な場合、パーティションの判定方法を改善しました。	並、上、上×2、 特上 Rel.3.0c以降 Rel3.0g以前	Linuxの領域を再度フォーマットし、再インストールを行うことで回避可能です。	
	Windowのログオンパネルの表示までに3分以上時間を要する古い機種の場合、AutoCadのライセンスが壊れる場合が稀にある。(通常発生することはありません)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	なし	
	アプリケーション登録時に、Windowsフォルダ配下の'\$NtUninstallKB*'フォルダが原因で、登録に失敗する。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0g以前	資源登録時に一時的に問題が発生するフォルダを別ドライブへ移動し、資源登録完了後に復元する。	
	瞬快がRel2.0g以前からRel.3.0へバージョンアップを行うと処理に失敗する。	プログラムを修正しました。	並、上、特上 Rel3.0g以前	処理に失敗した場合は、強制修復を実施し以下の手順でバージョンアップを実施して下さい。 ・瞬快をアンインストールする。 ・最新版で再度インストールを実施する。	
	以下の条件の場合、瞬快のログオンパネルの設定画面で自動ログオンを設定したにもかかわらず、自動ログオンに失敗する。 1)OSがWindowsXPである。かつ 2)パスワードなしのユーザである。かつ 3)セキュリティパッチKB835732を適用している。 失敗した時、パスワード欄に"***"が表示され、パスワードを消してOKを押すとログインできる。	セキュリティパッチの適用で、瞬快の設定処理に非互換が発生したため、処理を見直しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.0g以前	なし	
	マルチキャスト配信開始後、配信処理のプログレスバーが3%で停止する場合がある	マルチキャスト配信時の起動パラメータを見直しました。	上×2、特上 Rel3.0f以前	0.%システムリカバリサーバインストールフォルダ%BINL%x86pc%und%Emm%PowerCast5.1をコピーする等行い、バックアップを行なって下さい。 1.%システムリカバリサーバインストールフォルダ%DeployCenter%PqVFedit.exeを実行して下さい。 2.%システムリカバリサーバインストールフォルダ%BINL%x86pc%und%Emm%PowerCast5.1を、PqVFedit.exeに対してドラッグアンドドロップして内容を表示させて下さい。 3.restmbr.exeを選択し、右クリックにて削除を選択して下さい。 4.PqVFedit.exeを保存して終了して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	システムリカバリサーバのレベルアップを実施する際、正常に置き換わらない場合がある。	上書きによるレベルアップ処理の見直しを実施しました。	上×2、特上 Rel3.0f以前	レベルアップを実施する前に、以下の4つのサービスを停止してからレベルアップを実施して下さい。 Fujitsu QRM MTFTP Service Fujitsu QRM PXE Service Manager Fujitsu QRM Services Fujitsu QRMCCServ	システムリカバリ機能で発生します。
	以下のエラーがサーバのシステムイベントログに出力される。(動作には影響なし) ソース名:QRMServices 説明:ERROR:LoadparsingDLLs:FreeLibrary(DhcpPerser). Because on the failuer in Initialize()	イベントログ出力の方法を変更しました。	上×2、特上 Rel3.0fのみ、かつ簡易DHCP機能を利用しない場合	なし	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信後のWindows起動処理において、複数台が同一のSLEEP時間となり後処理で失敗する場合がある。	マルチキャスト配信後の処理を見直しました。	上×2、特上 Rel3.0f以前	なし	システムリカバリ機能で発生します。

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	イメージを取得する際、qrmrdwiz.exeを以下の方法で呼び出した場合、アプリケーションエラーが出力され、異常終了する。 ¥¥%FQDNサーバ名¥¥QRM_CMD\$¥ Tool¥QRMRDWIZ.EXE	プログラムの修正を行いました。	上×2、特上 Rel3.0f以前	NETBIOS名にて、リカバリサーバ名を指定して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信を実施した際、「Trying To Connect to Server "OSR"」のメッセージが表示された状態で、処理が停止してしまう。	クライアントTTLの値が1になっており、セグメント超えでの配信が行えていなかった。	上×2、特上 Rel3.0d、fのみ	0.%システムリカバリサーバインストールフォルダ¥¥BINL¥x86pc¥undi¥Emm¥PowerCast5.1をコピーする等行い、バックアップを行なって下さい。 1.%システムリカバリサーバインストールフォルダ¥DeployCenter¥PqVFedit.exeを実行して下さい。 2.%システムリカバリサーバインストールフォルダ¥¥BINL¥x86pc¥undi¥Emm¥PowerCast5.1を、PqVFedit.exeに対してドラッグアンドドロップして内容を表示させて下さい。 3.Autoexec.batを選択し、右クリックを押して解凍して下さい。 4.Autoexec.batの下から6行目PQPCASTの起動コマンドに以下のコマンドを追加して下さい。 '/TTL=15' 5.編集を行ったAutoexec.batを1.で開いたPqVFedit.exeにドラッグアンドドロップして下さい。 6.PqVFedit.exeを保存して終了して下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	BIOS設定を配付を実行すると、not supportというエラーメッセージが表示され、処理が途中で停止する(BIOS設定の配布は完了する)	DOS上から電源未サポートのマシンにおいて電源切断処理を実行していた。DOSからの電源切断未サポートマシンに対しては最終処理を再起動にできるように処理を見直しました。	上×2、特上 Rel3.0f以前、かつDOSからの電源切断が未サポートのマシン	手動にてクライアントの電源切断を行なって下さい。	システムリカバリ機能で発生します。
	マルチキャスト配信時、クライアントHDDへの書き込み方法の初期設定を見直しました。	従来はDMA転送を有効にした状態で書き込み処理を実施していましたが、当V/LよりDMA転送を無効にした状態で書き込みを行うように初期値を見直しました。	上×2、特上 Rel3.0g以前のすべての製品	DMAを有効にするには以下の手順を行ってください。 1.モジュールのバックアップ 以下のモジュールをバックアップして下さい。 システムリカバリインストールフォルダ¥¥BINL¥x86pc¥undi¥Emm¥PowerCast5.1 2.以下のモジュールを上記の場所にコピーして下さい。 この際、必ず読み取り属性をはずして下さい 瞬快 CDROM¥SRO¥modify¥PowerCast5_enh.1 3.コピーしたモジュールをPowerCast5.1に変名して下さい。 4.以上で設定は完了です。詳細はResolution.pdfをご参照ください。	システムリカバリ機能で発生します。
3.5	ファイル・フォルダ単位にてインストールをすると、デスクトップにファイルを保存したにも関わらず保存したファイルが表示されない。	ファイルフォルダ単位の場合にディレクトリ通知イベントに対応するよう処理を見直しました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前 ファイルフォルダ単位・修復モードのみ	F5キーを入力しデスクトップの状態を最新に更新して下さい。	
	ファイルフォルダ単位のと看、サイレント定義ファイルのPATH項目にドライブのルートを記述しないとき、環境設定画面では「修復対象」と表示されるが、実際の動作では「修復対象外」となる。	PATH項目にドライブのルートが記述されていない場合は、環境設定画面で「修復対象外」と表示されるように修正しました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前 ファイルフォルダ単位	なし	
	管理機能でグループ名の新規追加または名前変更を実施するとき、「CTRL+Z,X,C,V」を入力直後に「Z,X,C,V」の入力ができない。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0h以前	なし	並、上×2は未対応です。
	管理機能でファイルフォルダ単位のグループに対して、復元タイプがバックアップモードのWinMeの端末をドラッグドロップすると移動できる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	WinMeの端末をファイルフォルダ単位のグループに移動してもクライアントに対して適用はされません。
	CDをセットし、Autorunが起動するタイミングで「TCP/IPがインストールされていません」とメッセージが出力される。	インストーラの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	Win98またはWinMeで、クライアントをアンインストールするとTEMPフォルダ配下のファイルが残ったままになる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	
	管理機能より1台以上のクライアントに対してレベルアップの指示を実施すると、以下のメッセージが表示されて正常にレベルアップできない場合がある。Msg:レベルアップでエラーが発生しました。レベルアップ結果:ファイル送信失敗	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	
	管理機能よりレベルアップを実施すると、接続に失敗しました。のメッセージが表示されレベルアップが実行できない、場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	
	資源配付完了処理において「資源の適用に失敗しました。(環境の切り替えに失敗しました)」のメッセージが表示され、資源配付が実行できない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0h以前	なし	
	リモート電源ONで同時に行う台数に関わらず、3・4台電源が入らない場合がある。	電源ON命令の送信タイミングを見直しました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	同時に電源ONするクライアント数を少なくして実行してください。	
	サイレントインストールの定義ファイルの中でログファイルのパス名に存在しないパスを指定するとログファイルが出力されない	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	ログファイルパスに存在するパスを指定してください。	
	WindowsUpdate)連携ツールを製品に組み込みました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	
	GUIからの対話形式でのインストールにおける復元タイプのデフォルト値をファイル/フォルダに変更しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	なし	
	サーバ機能のレベルアップ時に自動でサービス停止 / 開始を実施するように変更しました。	インストーラの修正を行いました。	上、特上 Rel3.0h以前	なし	
	ウイルス連携仕様において、瞬快インストール後にウイルスチェックソフトを追加したい場合、個別環境の変更でも設定可能となるように変更しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.0h以前	瞬快をアンインストールまたはバックアップモードに変更し、ウイルスチェックソフトをインストールしてください。	
3.5a	瞬快クライアントをファイルフォルダ単位修復モードに設定したとき、IEプラグインを利用したWebアプリにアクセスしファイル削除しようとするエラーになる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5以前 ファイルフォルダ単位修復モードのみ発生	なし	
	リモート操作により「ファイルフォルダ単位 バックアップモード パーティション単位 バックアップモード ファイルフォルダ単位」と復元タイプを変更させると、最初のファイルフォルダ単位の修復対象情報が消えてしまう。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5以前	修復対象領域の設定を再度実施してください。	
	管理機能から環境設定画面を選択すると、管理機能がRuntimeErrorで異常終了する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5以前	なし	修復対象領域の一覧設定で4096バイト以上の文字列指定すると発生する。
	管理機能から環境設定画面を選択すると、「クライアント情報の送信に失敗しました」というエラーが発生する。また、クライアント側でCPU使用率が100%となる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5以前	なし	修復対象領域の一覧設定で8192バイト以上の文字列指定すると発生する。
	サブネットが255.255.255.0以外の環境において、WindowsUpdateのスケジューリング開始時に電源投入が実施されない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5のみ発生	なし	
	IDEのマスタにMO(ディスク0として認識済み)が接続され、セカンダリにHDDが増設された環境において、瞬快クライアントのインストールができない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5のみ発生	なし	
	バックアップモードのクライアントに対してレベルアップを実行すると「接続に失敗」と誤ったメッセージが出力される。	メッセージの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5のみ	なし	
	WindowsUpdate処理について、即時実行を実施する際の時間設定処理を変更しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5のみ	なし	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	「後から環境設定を行う(バックアップモード)」を選択しクライアントをインストールすると、インストール後に環境設定にて自動ログオン設定が選択できない。(GINA、SLFLOGON)	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5のみ発生	クライアントインストール時に環境設定を行ってください。	クライアントインストール後に、GINAとSLFLOGONの設定変更はできません。
	リモート管理機能から複数(40台程度)のクライアントPCを選択肢、モード変更を実施するとリモート管理機能が突然終了する。	プログラムの修正を行いました。	並、上×2 Rel3.5以前	選択するクライアントPCの数を減らして操作してください。	
	ファイルフォルダ単位修復モードのクライアントでユーリード社製フォトコンパクト8を起動すると、マウスアイコンの砂時計がいつまでたっても消えない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5以前	なし	
	瞬快クライアントをアンインストールするとき、Administrator権限をもつ全角を含むユーザアカウントを利用するとアンインストールできない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5以前	瞬快クライアントをアンインストールするときにはAdministrator権限をもつ半角のみのユーザアカウントにて操作してください。	
	WindowsUpdate処理を実施すると、パッチが正常に適用されているにも関わらず「すべてのパッチの適用に失敗しました」と判断する場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5のみ発生	なし	
	瞬快クライアントがインストールされているPCに瞬快なしのイメージを復元するとOSが起動しなくなる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5のみ発生	なし	
	ファイルフォルダ単位、修復モードのとき、「a.aaaaa」(1バイト+「.」+5バイト以上の形式)というドメインユーザにログオンできない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5以前	なし	
	Windows同士のマルチブート切り替え環境において、設定情報が削除される場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5のみ発生	なし	
	Windows98に瞬快クライアントをインストールしようとする、「瞬快のインストールに失敗しました。瞬快をアンインストール後、再度インストールして下さい。」となり、インストールが実行できない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5のみ Windows98のみ	なし	
	瞬快とSymantec AntiVirusCorporateEditionを共存させているとき、ファイル・フォルダ単位で運用しているとCPU使用率が常に10%程度の状態となってしまう。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5のみ ファイルフォルダ単位のみ	なし	
	更新モード中に連携可能なウイルス対策製品をインストールした後、個別環境の変更を実施する連携されるように変更しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5以前 ファイルフォルダ単位のみ	なし	
3.5b	トレンドマイクロ社ウイルスバスター2005と瞬快の共存に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。
	WindowsUpdate管理機能における、機能強化を実施しました。(エラー発生時のリトライ処理、詳細なエラー出力等)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5、Rel3.5aのみ	なし	
	リモート管理機能において、何らかの操作を行うたびにクライアントの並びが変わる場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上×2 Rel3.5a以前	なし	
	瞬快クライアントのレベルアップをリモート管理から実施すると、WindowsUpdateのバッチ適用履歴がクリアされる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5、Rel3.5aのみ	クライアントレベルアップ前に瞬快クライアントインストールフォルダ配下のtempフォルダの履歴をバックアップしてください。	
	リモート管理機能において、IPアドレスのタブをクリックしてもソートされない。	プログラムの修正を行いました。	並、上×2、 Rel3.5、Rel3.5aのみ	なし	
	瞬快クライアントを導入したコンピュータにおいて、起動時にCTL+ALT+DELを押下後ログオン画面が表示されるが、ESCキーを押下し、再度CTL+ALT+DELを押下するとログオン先が「ドメイン名」から「ローカルマシン」に変更される。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前 ドメイン運用の場合、かつ、Windows2000、WindowsXPのみ	ログオン画面にて再度「ドメイン名」を選択してください。	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	瞬快クライアントを導入したコンピュータにおいて、Cドライブのルートに新規フォルダを作成することができない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前 ファイルフォルダ 単位修復モード の場合	なし	
	瞬快クライアントのインストールされているコンピュータにリモートデスクトップ機能でログオンできない。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5、Rel3.5a WindowsXPのみ	なし	
	瞬快クライアントを導入したコンピュータにおいて、WindowsXP標準のCDR機能を使用してファイルをCDRに書き込むことができない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前 ファイルフォルダ 単位修復モード の場合 WindowsXPのみ	復元タイプをパーティション単位 またはバックアップモードに変更 して操作してください。	
	瞬快クライアントを導入したコンピュータにおいて、Windowsログオン時にハングアップする場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前	なし	
	瞬快クライアントを導入したコンピュータにおいて、使用中のファイルに対して更新ができる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前 ファイルフォルダ 単位修復モード の場合	なし	
	瞬快クライアントを導入したコンピュータにおいて、大文字ファイル名を小文字ファイル名に変名できない。(逆もできない)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5a以前 ファイルフォルダ 単位修復モード の場合	なし	
3.5c	WindowsServer2003 SP1 に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	なし	
	マカフィー社Managed VirusScanと瞬快の共存に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	なし	ファイル・フォルダ単位 の設定のみ可能です。
	トレンドマイクロ社VirusBaster Corp.7.0と瞬快の共存に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	なし	ファイル・フォルダ単位 の設定のみ可能です。
	リモート管理機能をレベルアップするとき、以前のRMNTENV.INIファイルをバックアップするように修正しました。	リモート管理機能をレベルアップするとき、レベルアップ前のRMNTENV.INIファイルをRMNTENV.BAKにバックアップするように修正しました。	並、上×2 Rel3.5b以前	なし	
	管理機能をレベルアップするとき、以前のRMNTSV.INIファイルをバックアップするように修正しました。	リモート管理機能をレベルアップするとき、レベルアップ前のRMNTSV.INIファイルをRMNTSV.BAKにバックアップするように修正しました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	インストール時にリモートログオン方式設定後の画面から「戻る」を選択すると、リモートログオン方式の設定値が必ずGINAになる。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	クライアントのログオンパネルが表示された直後のタイミングでサーバからRCHMODEコマンドを発行すると、サーバ側でワトソン博士のエラーとなる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	なし	
	アプリ適用時、「フォルダパスが見つかりません」のエラーとなることがある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	タスクの設定において、OS起動時に実行するような環境では C:%WINDIR%\タスク名.job が必ず更新されるため、配付されてしまい、配付先のタスクが動作しなくなる。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	AutoCADがインストールされたクライアントから資源登録を実施後、資源配付を行うと、配付先クライアントのAutoCADがオーソライゼーションエラーとなる。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	リモート管理機能端末に複数のNICが存在する場合、WindowsUpdateが正常に動作しない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	リモート管理において、 WindowsUpdate連携を実施する クライアントと通信を行うネット ワークアダプタの優先順位を最 上位に設定してください。	

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
	デュアルブート環境において、瞬快本体がインストールされていない場合、Linuxモジュールをインストールすることができない。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	以下の手順で回避をお願いいたします。 1)Windowsに瞬快本体をインストールする 2)Linuxに切り替えて、Linuxモジュールをインストールする 3)Windowsに切り替えて、瞬快本体をアンインストールする	
	クライアントをバックアップモードに変更すると、システムイベントログにエラーが出力される。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	なし	
	RICOH IPSIO NX710において、ネットワークプリンタのプロパティを開くとブルー画面が表示されリブートする場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前 ファイルフォルダ 単位修復モード	なし	
	Windows標準添付のOutlookExpressにおいて、連絡先を新規登録すると、新規登録直後の結果が反映されない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前 ファイルフォルダ 単位修復モード	なし	
	修復対象のファイルを上書きしても更新日付が変更されない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前 ファイルフォルダ 単位修復モード	なし	
	複数の資源を適用する場合、指示どおりの順番で適用されない場合がある。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	クライアントを一旦削除し、再登録してください。	
	Windows XP (SP2) のWindowsファイアウォールがデフォルト設定のマシンにインストールした瞬快クライアントに対して、「RPOFF.EXE <IPアドレス>」を実行すると、「コマンドの送信に失敗しました」と表示される。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前 WindowsXP(SP2)	クライアント側のファイアウォール設定で、UDP137番ポートを有効に設定してください。	
	ファイアウォールへの例外リストへ登録を行ったにもかかわらず、設定内容が消え、通信が遮断されてしまうことがある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前 WindowsXP(SP2)	なし	
	クライアント側でNBTが無効状態のときに管理機能からクライアント情報の取得を実施すると、クライアントのMACアドレスのみが取得できない。	左記の場合に、エラーログに出力し、直前のMACアドレスを表示するようにプログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前	クライアント側のMBTを有効に設定してください。	
	SKGINAを選択しているクライアントに対して、リモートログオンを実施すると、ctrl+alt+delを押した画面でログイン情報のユーザ名や日付などが表示されない。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	SifLogonを利用してください。	
	SKGINAを選択しているクライアントに対して、リモートログオンを実施すると、ログオンスクリプトが動作しない。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	SifLogonを利用してください。	
	SKGINAを選択しているクライアントについて、パスワード付きのスクリーンセーバーを動作させると、スクリーンセーバーから復帰できなくなる。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	リモート管理から該当クライアントに対して、電源OFFまたは再起動を実行してください。	
	SKGINAを選択しているクライアントについて、Ctrl+Alt+Delでログオン画面を表示しない設定にされているクライアントが、スクリーンセーバー起動中にリモート管理からリモートログオンしようとすると失敗する。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	SifLogonを利用してください。	
	WindowsXPの簡易ログオンでsiflogonが実行できない	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	クライアントがログオンまたはログオフ中にリモートからログオン / ログオフを行うとクライアント常駐プログラムでアプリケーションエラーが発生する。	プログラムの修正を行いました。	上、特上 Rel3.5b以前	なし	
	Windows9x系OSにWindowsUpdateを実行した場合、エラーと通知されるがシャットダウンが実行されず起動したままとなる。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5b以前 Windows98 / Me	なし	
	システムリカバリサーバのアンインストール時にSnkChWiz.exeがファイアウォール例外リストから削除されない	システムリカバリサーバアンインストール時の処理を修正しました。	上×2、特上 Rel3.5b以前 WindowsXP(SP2)	コントロールパネル Windowsファイアウォール設定画面で、snkchviz.exeの例外を削除してください。	システムリカバリ機能で発生します。

レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
3.5d	シマンテック社Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0と瞬快の共存に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5c以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。
	EPSON GT-F500に添付の「EPSON Smart Panel」を実行するとアプリケーションエラーが発生し、起動できない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5c以前 ファイルフォルダ 単位修復モード	復元タイプをパーティション単位またはバックアップモードに変更して操作してください。	
	新規作成したファイルをCD書き込みウィザードに準備した後、ごみ箱へ移動する、または完全削除した場合、作成したファイルの内容が0Kバイトになってしまう。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5c以前 ファイルフォルダ 単位修復モード の場合 WindowsXPのみ	復元タイプをパーティション単位またはバックアップモードに変更して操作してください。	
	瞬間復元機能が動作しない機種がある	瞬快がロードされるタイミングによりOSの他機能との競合が発生する場合に、競合を回避するよう対応しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5c以前 ファイルフォルダ 単位修復モード	復元タイプをパーティション単位またはバックアップモードに変更して操作してください。	NEC MATE MY28V/R-Fのみ発生しておりました。
3.5e	シマンテック社Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0の改変対策を有効にした状態で瞬快と共存すると、一部の機能が正常に動作しない問題を改善しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前 ファイルフォルダ 単位のみ	Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0の改変対策を無効に設定してください。	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。
	トレンドマイクロ社 ウィルスバスター 2006と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。
	MDL社 ISIS Drawを起動して終了すると、ISIS Drawが終了時に、以下のようなメッセージを出力する。 メッセージ: SetFileSecurity() failed. Error 317	プログラムを改修しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前	なし	
	修復対象領域に存在する、ファイルサイズが4GBを超えるようなファイル(VMWareのファイルなどが該当します。)にアクセスした場合、OSが再起動される場合がある。	プログラムを改修しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前	なし	
	WindowsUpdateを行った後、修復モードに変更して運用を行っている、Windowsが起動してから数分～数十分後に突然再起動する場合がある。	プログラムを改修しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前	なし	
	Windows XPの簡易ユーザ切り替え画面の状態、スクリーンセーバーが起動中、リモートログオンが実行できない。	プログラムを改修しました。	上、特上 Rel3.5d以前 リモートログオン 方式を SLFLOGON 方式に設定して	リモートログオン方式をGINA方式に設定変更してください。	リモートログオン方式をGINA方式に設定している場合は該当しません。
	リモート管理機能から10台を超えるクライアントに対して、一斉に操作すると、ハングアップする場合がある。	プログラムを改修しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前	一度に操作するクライアントの数を減らして操作を実施してください。	
	リモート管理機能を見やすいサイズ/位置に画面を変更したにも関わらず、リモート管理機能を一度終了すると元の状態に戻る。再度起動したときには、前回終了時のサイズ/位置で起動して欲しい。	終了時の画面サイズ/位置を記憶し、起動時には終了時と同じサイズ/位置で起動するように、機能強化しました。	並、上×2 Rel3.5d以前	なし	上、特上は未対応です。
	24時間稼働しているサーバに瞬快サーバをインストールしていると、突然クライアント情報が削除される場合がある。	プログラムを改修しました。	上、特上 Rel3.5d以前	なし	
	コマンド(RPOFF.EXE)実行における通信処理で、環境に依存しないようにタイムアウト時間が指定できるようにしたい。	通信のタイムアウト時間を明示的に指定できるように、機能強化しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前	なし	
	ウイルス対策ソフトを資源配付しても、資源適用後にクライアントでウイルス対策ソフト連携ができない。	プログラムを改修しました。	上、特上 Rel3.5d以前	なし	
	瞬快を更新モードでインストールした後、ウイルス対策ソフトをインストールする。その後、chmode.exeコマンドで、「個別環境の変更」(chmode /M3)を実施しても、ウイルス対策ソフト連携ができない。	プログラムを改修しました。	並、上、上×2、 特上 Rel3.5d以前		
アプリケーション登録処理中、以下の条件が全て該当するファイルが存在する環境において、エラーが発生する。 ・アクセス権なし ・排他ファイル	プログラムを改修しました。	上、特上 Rel3.5d以前	なし		



レベル	障害内容	修正内容	影響範囲	回避策 / 対応策	備考
3.5f	シマンテック社Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.1と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。 WindowsXPのみ対応
	マカフィー社Managed VirusScan plus Antispywareと瞬快の共存に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。
	トレンドマイクロ社VirusBaster Corp.7.3と瞬快の共存に対応しました。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ可能です。
	エプソン社製エンデバーAT955において、瞬間復元ドライブを修復モードからバックアップモードに変更すると、変更後OSが再起動を繰り返す場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	OS起動時にPageUpキーを押し、簡易環境設定メニュー画面を表示し、「キャンセル」を選択してください。	
	エクスプローラにおいて、修復対象のディレクトリ内のファイルをコピー、またはリネームした時、コピーで作成されたファイル、またはリネームしたファイルのプロパティ情報が欠落する。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	Ulead社の「DVD MovieWriter 4」にてビデオデータをキャプチャし、「キャプチャ終了」ボタンを押すと、「キャプチャ失敗、キャプチャしたファイルが壊れている可能性があるので削除する」と表示され、キャプチャできない。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	修復対象となっているファイルを編集する場合、エクスプローラでそのファイル一覧を参照してもファイルサイズ・タイムスタンプの変更結果が即時反映されない。 (「最新の情報に更新」を実施することで反映される)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	「最新の情報に更新」を実施してください。	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	一般ユーザ権限で、フリーソフトのLHAPLUSにてファイル圧縮を実行すると、エラーとなり圧縮できない。(管理者権限ユーザの場合は問題なく圧縮される)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	管理者権限ユーザにてLhaplusを利用してください。	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	sophos antivirusがインストールされている環境において、瞬快のドライブが停止してしまう場合がある。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ。 sophos antivirusと瞬快がウイルス対策ソフト連携しているわけではありません。
	MacromediaのFreeHandMXというソフトで一般ユーザ権限で、新規ファイル作成を行うとファイルの作成に失敗してしまう場合がある。(管理者権限ユーザでは問題なし)	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	管理者権限ユーザにてFreeHandMXを利用してください。	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	瞬快をファイル・フォルダ単位でインストールした後、修復対象内にEXEをコピーしてから、コピー先のEXEを実行すると、タスクマネージャにて表示されるプロセス名が、テンポラリファイル名(4aなど)になってしまう。	プログラムの修正を行いました。	並、上、上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	システムリカバリ機能において、249回以上のディスクイメージ作成ができない件に対応するモジュールを添付しました。	プログラムの修正を行いました。 詳細は製品CD-ROM内のSRO¥qrm-module¥qrm-readme.pdfを参照してください。	上×2、特上 Rel3.5e以前	なし	